

|         |  |         |            |               |        |
|---------|--|---------|------------|---------------|--------|
| 科目名     | 成人・老年看護学実習Ⅳ  | 単位数・時間数 | 2 単位 90 時間 | 開講年次          | 2～3 学年 |
| 担当講師名   | 専任教員、実習指導者   |         | 実習場所       | 二戸・一戸・軽米・久慈病院 |        |
| 目的      | リハビリテーションを必要とする患者の特徴を理解し、日常生活の拡大や社会復帰(退院)に向けた生活の再獲得のための援助について学ぶ  |         |            |               |        |
| 到達目標    | 1. リハビリテーションを必要とする対象の特徴を心胆的・心理的・社会的側面から総合的に理解できる。<br>2. 合併症、二次的障害を予測し、予防のための援助ができる<br>3. 社会復帰(退院)に向け、生活の再獲得のための援助ができる<br>4. 回復への期待と不安をもつ対象とその家族への心理的支援ができる   |         |            |               |        |
| 実習内容・方法 | 対象:リハビリテーションを必要とする患者<br><br>1. 生活習慣、生活環境等を整理しながら情報収集を行う<br>2. 受け持ち患者の持っている能力を引き出すためのアセスメントをし、援助を行う<br>1) 環境調整<br>2) 日常生活援助技術<br>3. 二次的障害や事故を予測し、予防に向けた援助を行う<br>4. 生活における楽しみや生きがいを知り、自立と自律のための援助を行う<br>5. 各種療法士と連携し安全にリハビリテーションを行う<br>6. リハビリテーションへの期待と不安に対する心理的支援を行う |         |            |               |        |
| 備考      | 詳細は、実習要綱を参照する  |         |            |               |        |
| 成績評価方法  | 実習評価表に基づき評価する  |         |            |               |        |